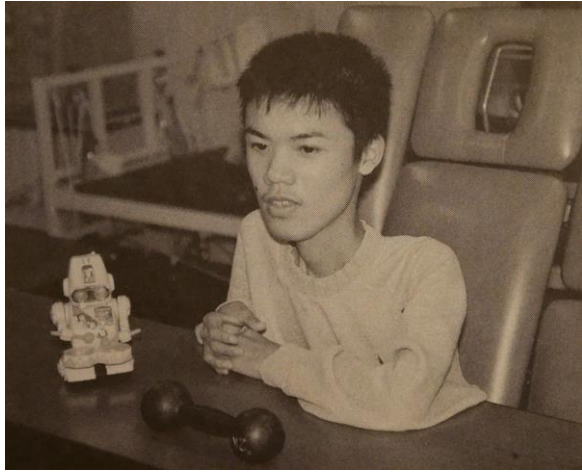


第8詩集「ぼくの中の僕」より



篠原 豪

1973年 2月 徳島県で生まれる。

1982年 3月 国立療養所徳島病院に入院。

ただ一つの存在

ここに
ある一本の花も
いつの日か僕と出会ったね
その時おまえは
何か言いたそうに微笑んだね
それから毎日のように話したね
おまえの仲間の事
ぼくの仲間の事もみんな
あの出会いがあったからさ
そんな毎日もいつかは終わるよ
でもおまえがいなくても
僕の中に生き続けるかぎり
君の存在は消えないさ

希望の光

まぶしすぎる光の中で
僕は何度目をおさえたか
あんな物はこの地上には
まぶしすぎる
今ここには暗闇しかない
そんな暗闇に何度も
いや気がさしていた
でもほたるを見なよ
あのほたるだって
光を求め続けて
最後には力尽きるのに
自分にはそんなかけらもない
そうだあのほたるも
光を求め続けてたから
僕もあの光を力尽きるまで
自分の物にしてみせる
生きていく以上は・・・